



六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 7. 7

No. 12

子ども学習参観

先週1週間の中で、いろいろな学年が「子ども学習参観」を行いました。普通、他のクラスの授業参観は教師が行うものです。他の先生方の指導を学んだり、子ども達の様子を見て、教師が参考にしたりにするために行います。その授業参観をなぜ子ども達が行うのかということです。

我々教師は、よりより授業を実践するために、毎日研修に取り組んでいます。例えば、今重要視されているのが「子ども達での学び合い」です。課題について、ペアやグループで話し合う活動をどの教科でも行っています。しかしながら、これは指導が難しく、教師もいろいろ勉強しながら取り組んでいます。勉強する中で、教師一人ひとりが、「望ましい子ども達での学び合いの姿」を描き、その実現に向けて努力するわけです。

しかし考えてみると、「学び合い」は教師がするのではなく、子ども達が自分たちの手で行うわけです。その肝心な子ども達に、「望ましい学び合いの姿」のイメージはありません。もし、子ども達自身に、そのイメージをもたせられたら、学び合いは一層深まっていくに違いありません。そこで、考えたのが「子ども学習参観」なのです。



上の写真を見ていただければわかるように、3年生以上の学年は、参観する学級の授業での良さをメモしています。上の学年の先輩達の良さを見つけて、自分たちもそうなりたいという思いとイメージをもたせたいからです。一人ひとりの学習に対する姿勢の良さ、子ども達での学び合いのすばらしさを発見してくれました。

(5年) 話し合うと言われたら、すぐに意見を言い合って、それをまとめてボードに書いたりして、一人で考えるときは、図に色で分けたり、色をつけたりしてわかりやすく書いていました。他に、いろいろな角度から見て、いろいろな答えを考え出していました。それに、発表のときは、発表する人は相手を見ながら説明して、聞いている人は発表したことについての質問をして、理解し合っていることがすごいなと思いました。ぼくもこんな発表をしたいと思いました。

(5年) 6年生が算数の授業をしている所を見て、わたし達ははずかしがって手をあげる人が少ないけれど、6年生でははずかしがっている人が少なく、みんな手をあげたり、別の意見の人をせっとくさせようとたくさん発表して、まとめまでたどりつくことができました。わたしもはずかしがらずに、自分の意見をはきはきと言いたいです。6年生のノートを見て回ったけれど、みんなノートの使い方が上手で、まねをしたいなと思いました。ホワイトボードは、みんなの意見を聞き合ってまとめたりして、協力するグループはたくさんあるんだなと思いました。わたしも、たくさん6年生のいい所をまねして、算数の得意をふやしたいです。

二人とも、6年生の授業をよく見ているのがわかります。声が大きいか、まじめに聞いているといった表面的な部分ではなく、「いろいろな角度から考えている。」「相手を説得させようといういろいろな発表している。」といった、学び合いにとって非常に大事であるポイントをとらえています。すばらしいことです。

「学び合い」に必要な力

六郷小学校は、来年度、大曲仙北研究会の算数の会場校として、郡内の算数科の先生方に授業を公開します。そのこともあって、今年度は特に算数に力を入れて研究を進めているところです。算数の授業でも「子ども達の学び合い」の部分を大事にしています。

先ほど述べたように、子ども達だけで充実した学び合いにするためには、育てなければいけない力がたくさんあります。



(上の左側2枚の写真)

「学び合い」は、学級全員でも行いますが、ペアやグループで行うこともあります。こういった少人数で話し合う力がまず必要です。「私は〜と思うんだけど、〇〇くんはどう思うの?」「この文章はどうしたらいいのかなあ? もっと別の書き方はない?」といった会話が自然に出るくらい話し合いができれば、学び合いとして深まっていくわけです。

(上の右側2枚の写真)

全体の学び合いでは、自分の考えを前に出て説明しなければなりません。「全体の前で大きな声で話す。」ことがまずは大事ですが、なかなか全員ができるわけではありません。また、説明する場合には、黒板に図を書くなどしてさらにつけ加えることも必要になります。これも、かなりの力が求められます。

六郷小の子ども達は積極的です。

普段の授業を見て回ると、どの学級も積極的に発表する子が多いことに気がきます。1・2年生が積極的なのはどの学校も共通ですが、高学年でも積極的に発表できる姿は、六郷小の良さだと感じています。全校集会でも、感想発表にたくさんの子どもの手が上がることに驚いています。

新体力テスト

子ども達の運動能力を測定する「新体力テスト」が行われました。この日は、全校縦割りグループで回る種目ということで、「立ち幅跳び」「反復横跳び」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」を行いました。この他に、「握力」「シャトルラン」「50m走」があります。



縦割りグループで各種目を回っていくのですが、種目が限られているために、待っている時間もありました。そういった時間も実は子ども達にとって大事な時間です。なぜかという、そういった隙間の時間に1年生と6年生が触れ合ったり、いろいろ話をしたりしているのです。貴重な交流タイムです。

